









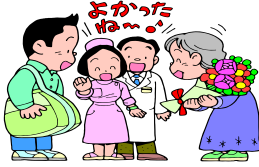
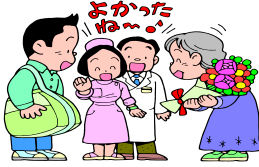


人工膝関節置換術を受けられる患者さんへ

項目	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目 月 日～退院まで	退院後からの注意事項
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に向けて体と心の準備ができる。 手術後の状態について理解でき不明な点は医療者に質問理解できる。 発熱がない。 手術に必要な物品の準備ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に向けて体と心の準備ができる。 食べたり飲んだり出来ないことが守れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静を守る事ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節を底背屈運動することで、足の血流を促し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を予防し、神経麻痺が起こらないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれを予防できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静を守る事ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節を底背屈運動することで、足の血流を促し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を予防し、神経麻痺が起こらないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれを予防できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ドレーンが抜けて歩行または車椅子に移乗できる。 転倒予防行動をとることができる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 持続的他動運動を実施できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ドレーンが抜けて歩行または車椅子に移乗できる。 転倒予防行動をとることができる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 持続的他動運動を実施できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 転倒予防行動をとることができる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 発熱がない。 リハビリテーションに参加できる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 持続的他動運動を実施できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後異常があるときは、早めに連絡し受診する事ができる。
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服しているお薬は医師の指示に従ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後しばらくは内服薬は看護師が配ります。 21時頃に下剤を飲みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の5時～6時に洗顔を行います。 指示された薬のみ内服します。 1番目の方は8時頃に手術室へ行きます。 2番目以降の方は、病棟で点滴を行い、連絡が来てから手術室へ行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴、ドレーンがあります。 自己血を輸血します。 心電図モニターと肺塞栓症予防のために足にフットポンプをつけます。 痛みがあるときは軽い痛みでも痛み止めを使いますのでナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで飲んでた薬を再開します。 新たに鎮痛剤の内服が開始となります。 1番目の方は8時頃に手術室へ行きます。 自己血を輸血します。 抗生物質の点滴が朝と夕にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 抗生物質の点滴が朝と夕にあります。 傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。 ドレーンが抜けた日から持続的他動運動が始まります。 リハビリテーションが始まります。 リハビリテーション室は2階にあります、時間は朝に看護師が伝えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後11日～14日の間に傷を確認し抜糸を行います。 リハビリテーションを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> <退院後の生活について> 【入浴の際の注意点】 滑り止めや浴用椅子を使用しましょう。 【体重コントロールについて】 標準体重を目標としましょう。 【感染予防について】 手術した傷の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合はすぐに医療機関を受診してください。 【転倒予防について】 入院中に実践していた転倒予防行動を継続し、転倒しないように注意してください。 【外来受診とリハビリテーションについて】 定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します。 【内服について】 退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 昼食の前に採血があります。 心電図、肺機能、レントゲンがあります。 尿検査がある方は尿コップを渡します。14時までに出してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な検査がある場合のみ行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後初回再診日まで、不明な点、不安な事がありましたら下記連絡先に電話してください。
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 転倒予防のため必ず履のある靴を履きましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静になります。 ドレーン抜去防止のために看護師がベッドの操作を行いますので、ナースコールでお知らせください。 1人で体の向きを変えることはできません。ナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行を開始します。 初回の移乗は医師とともにに行います。 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎平日 8時～16時 整形外科外来 (0985) 85-9885 ◎時間外、土、日、祝日 2階東病棟 (0985) 85-1743 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食より部屋に配膳します。 	<ul style="list-style-type: none"> 絶対絶食の時間は麻酔科医師の診察後にお知らせします。 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医の指定された時間まで水分(水・お茶のみ可)を摂ることができます。絶対絶食の時間をお守りください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術当日は絶食になります。飲水は看護師の指示に従ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前と同様の食事が始まります。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーに入ってください。介助が必要な方は看護師が介助します。 必要な部位の剃毛を行います。 手足の爪の切りを行います。 化粧やマニキュアはとって下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> シャワーや体拭きはできません。 		<ul style="list-style-type: none"> 看護師が体拭きを行います。 医師の許可が出るまでシャワーには入れません。 洗濯や足を洗うことは患者さんと話し合いながら計画を立てていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の抜糸が終わった後、医師が確認した後にシャワーの許可が出ます。 シャワーの許可が出たら、看護師がシャワーの介助をします。 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツや便器を使用した排泄になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管を抜きます。排尿と排便はトイレで行う事ができます。 			
患者様及びご家族への説明・栄養指導・服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 病棟クラーク(事務職員)が病棟の案内を行います。 リニカルパスに沿って手術前オリエンテーションを実施します。 主治医から手術説明・麻酔科医から術後の説明があります。手術に必要な以下の同意書をご記入し、看護師に提出してください。 手術説明同意書 輸血同意書 特定製剤由来同意書 リハビリ同意書 【ご家族の方へ】 病室へ入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前オリエンテーションを行います。 深呼吸の訓練をしましょう。 タバコを吸ってはいけません。 マニキュアは落とすしてください。 術後は、病室が変わりますので部屋移動について看護師が説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 化粧はしてはいけません。 指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や歯布を外してください。 手術衣に着替えて肺塞栓症予防のための弾性ストッキングを履きます。 トイレを済ませストレッチャーに乗り、3階の手術室へ移動します。 ご家族は、手術室入室前までには直接病室へお越しください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術終了後は、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。麻酔が切れてくると徐々に足が動くようになってきます。足が動かない場合はナースコールでお知らせください。 床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう。 主治医より、患者・ご家族へ手術の経過について説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> <転倒予防について> 左右確認を行いゆっくり移動しましょう。 身の回りの整理整頓を行いましょう。 歩行器を使用する場合は、ストッパーがなくて滑りやすくなっています。立ち上がる時などは支えにはしないようにしましょう。 テーブルを支えこいて歩いたり、立ち上がらないようにしましょう。ストッパーがかららないものがあり、危険です。 履き慣れた履のある靴を使用しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が可能となったら、主治医の指示のもと弾性ストッキングを脱ぐことができます。 医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続きを行ってください。尚、書類作成には約2週間かかります。 	<ul style="list-style-type: none"> 【退院日】 病棟クラーク(事務職員)が会計票、看護師が預けている内服薬を病室までお持ちします。病室でお待ちください。 	
手術の準備物品	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日までに以下の物品を準備してください。自宅で手足の爪切りをしてきてください。 1字帯2枚、平オムツ1枚(1階のローン)に売っています、曲がるストローまたは薬のみ、必要時スプーンやフォーク。 手術当日より、病衣着用が必要となります(1日80円)ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内に提出してください。使用しなくなった場合、使用中止の手続きが必要ですので看護師へ申し出てください。 手術後はリハビリテーションが始まりますので、履き慣れた靴や動きやすいスポンを準備してください。 							

注:イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。